

令和三年四月九日

愛媛県立八幡浜高等学校

入学式式辞

大地の万物に精気みなぎり、春爛漫の今日のおよき日に、多数のご来賓並びに、保護者の皆様のご臨席を賜り、愛媛県立八幡浜高等学校 令和三年度入学式が、かくも厳粛に挙げていただけますことは本校にとりましてこの上ない喜びであり、心より御礼申し上げます。ただ今入学を許可いたしました、百八十六名の新入生の皆さん、入学おめでとう。教職員・在校生一同、皆さんの入学を心より歓迎します。

さて、本校は、一九〇一年、明治三四年に愛媛県下初の商業学校として開校して以来、今年で百二十一年目を迎える県下有数の伝統校であります。同窓会の皆様や地域の方々など、多くの人たちの善意と、熱意に支えられながら、今日まで発展して参りました。新入生の皆さんも百二十年の重みを感じつつ、今日より本校の一員として誇りある足跡を印していきましょう。

このような本校での第一歩を踏み出した今、高校生活のスタートにあたり、二つのことをお願いしたいと思います。一つは、自分自身をしっかりと見つめ、皆さんがまだ気づいていない自分や才能、言い換えれば「新しい自分」を発掘し、それを磨き、輝けるものにしてほしい、ということです。そのためにはごく当たり前のことですが、勉強に一生懸命に取り組み、八幡浜高校の求める基礎学力をしっかりと身に付けなければなりません。勉強とは、普段よりほんの少し無理をすることと言われます。「新しい自分」を発掘するには、自分は今、何をすべきか、将来何をしたいか、何を生きがいとするのかを、じっくりと見極め、根気強く辛抱強くひたむきに努力していく必要があります。これから始まる高校生活の一日一日を、「新しい自分」を発掘するための日々である、という気持ちを持って、時々、ぶつかることになる困難なことにも、勇気を出して立ち向かってください。

もう一つは、一人一役で友達や学校、そして皆さんを見守り育ててくれる地域に役に立つ人になってください。

高校生ともなると、学校や家庭、また地域社会の中で十分役に立つ知力・体力が身に付いてきます。是非、自分の持っている能力を人のために役立ててください。人の役に立ち、頼りにされると、責任感が身に付くと共に、人の喜ぶ姿に感動し充実感を味わうことができます。私たちは、たくさん学び、たくさん感動し喜ぶためにこの学び舎に集っています。二、三年生及び私たち教職員とともに、伝統と誇りの持てる学校作りに、貢献してくれることを期待し、三年後、輝く皆さんがここから社会に巣立つことを願ってやみません。

おわりになりましたが、保護者の皆様本日はお子様のご入学誠にありがとうございます。私ども、教職員一同は、本日よりお子様の教育に、誠意と熱意を持って、全力で取り組む覚悟でございます。

保護者の皆様におかれましても、お子様の成長、八幡浜高等学校の発展のために、一層のご支援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんの、夢に向かう一歩一歩が、新しい校風作りの、清新な息吹となりますことを心より願ひ、式辞といたします。

令和三年四月九日

愛媛県立八幡浜高等学校長

菊地 英明